



中丹

農業改良

## 普及センターだより

## 後継者の新しいかたち—新規就農者—

担い手養成実践農場修了証書交付式



三重県から来られた青木理絵・<sup>りえ</sup> 栄樹<sup>しげき</sup>夫妻  
(前列中央)。  
2年間の研修を終えて福知山市興の茶を  
支えます。

<sup>ひろし</sup> 四方 宏さん(左)と<sup>なおと</sup> 四方尚人さん(右)。  
同じ姓でも、親子ではありません。  
尚人さんは宏さんの経営を継ぐべく、綾部市里町  
で水稲とシュンギク栽培を研修されています。



あなたの後継者を  
一緒に探します



は都市住民が多く、新しいアイデアや人脈を持っており、農村に刺激を与えてくれる人材です。

京都府では、補助事業や融資制度を準備して、新しく農業を始める人を応援する体制をとっています。「自分の子供が農業を継がない」、そんなときは是非とも普及センターにご相談ください。

最近、水田農業の柱である米の価格は下落し、原材料費は上昇の一途と、農家経営は所得が圧迫されています。

しかしそんな状況下で、京都府の就農相談窓口には、年間600件近い相談があるのも事実です。就農希望者は

## 京都府中丹広域振興局農林商工部

中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91  
TEL 0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

◆発行◆  
平成20年3月

中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁島10-2  
TEL 0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp



## お茶の環境にやさしい 施肥技術について

肥料中の窒素が環境に及ぼす影響については、環境省の環境基準健康項目にも上限が定められており、環境意識の高まりとともに、消費者の関心は高くなる傾向にあります。

地域の基幹作物であるお茶についても、これらの問題は避けて通ることのできない重要な課題です。環境にやさしい施肥技術とは、単に窒素質肥料の削減を目的とした栽培方法ではなく、あくまでも両丹茶の高い品質や収量を維持した上で、被覆肥料等の活用により施肥の一層の効率化を目指すものです。

平成19年12月には、JA京都にのくに茶部会員を対象に講習会を開催し、京都府立茶業研究所から講師を迎え、多くの生産者の方々が熱心に技術研さんに努められました。

また、同研修会や今日までの技術実証の成果を踏まえ施肥技術指針を作成し、具体的な施肥方法についても提案をしたところでした。

平成20年度は同指針に基づき、モデルとなる生産者の方々に先駆的に取り組んでいただき、数年をかけ収量や品質を慎重に見極め、より現場の実状にあった扱いやすい栽培技術として普及推進します。

### 第5回京都府土づくりコンクール

## 「JA京都にのくに夜久野黒大豆部会」 が京都府知事賞を受賞

「京都府土づくりコンクール」は、「土づくり」にこだわり、確かなものづくりを進める生産者グループを表彰するものです。

京都府、京都府農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会京都府本部が主催し、年に一度開催されます。

今年度、中丹ブロックの代表として選出された、JA京都にのくに夜久野黒大豆部会が、その取組を認められ、京都府知事賞を受賞、農林水産フェスティバル(19年12月1日)において、表彰されました。

## 「秋の味覚でひと儲け」が急増中!!

新しく舞鶴市東西部、福知山市大江町でも栽培が始まり、中丹全地域に広がった紫ずきん。平成20年は300名程度の栽培が見込まれています。新品種「紫ずきん2号」の導入で出荷可能期間も広がり、個別面積の拡大も可能になりました。



紫ずきん2号収穫前の様子

### ちょっと栽培者の感想をご紹介

#### 「退職後夫婦」「女性グループ」「集落営農」 新規に取り組みされた方の声

- 指導のとおりすれば栽培できました。来年は面積を増やします。  
(舞鶴市退職後御夫婦)
- 豆でこんなに莢着いたの初めて～、花の時期に水がいるんやね～  
(舞鶴市女性グループ)

#### 「段播き」や「新品種導入による規模拡大」を された方の声

- 早生の段播き？収穫労力の分散かあ、よし面積増やしてやってみよう。  
(福知山市生産者)
- 2号は栽培期間が短いし、莢もぎしやすかったよ。  
(福知山市夜久野町生産者)

普及センターでは、新たに栽培される方には収量の確保、新品種を導入される方には継続出荷が図れるよう、栽培方法を提案していきます。

### 紫ずきん栽培の 新たな動き



▲中丹全体の生産者が福知山市夜久野町へ視察

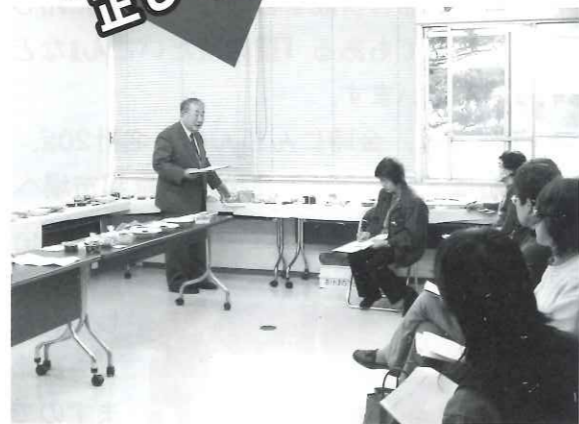
#### 紫ずきんとは・・・

紫ずきんと丹波黒大豆を枝豆として、9月上旬からの1ヶ月半収穫する露地品目。初期投資は少なく、ポイントを押さえれば栽培しやすい。価格は1000円/kg前後と非常に安定している。

# 注目! 今、こんな活動が熱い!!

### 正しく学んで 正しく製造

## 地産地消の味を 届けるために



▲プロの目から加工品へのアドバイス

消費者の食の安全に対する意識が強まる中で、安心・安全で新鮮な地元農産物や、それらを原料とした加工食品が購入できる直売所への期待が高まっています。

普及センターでは、特に、食品加工について正しく製造し品質を高めるため、加工施設の整備や許認可、

食品表示に関する諸法令の研修会や、加工品の求評会を実施しました。

これを契機に、新たな食品製造施設の整備や、消費者に分かりやすい表示ラベルへの改善が進んできました。また、地域の産物を活用した新商品づくりに挑戦する気運も出てきています。

## 限界集落に 春を告げる山ブキ栽培

### 綾部市市志集落 での取組

綾部市五泉町市志集落は、府道51号線から3km程度入った所にある山村です。住民13戸はすべて65歳以上で、いわゆる限界集落です。

古くから中上林地域では営農意欲の高い集落として知られており、これまで、シキミ、夏秋キュウリ、ピーマンなどの営利栽培に取り組み、市内でも高い成績を上げてきました。高齢化や獣害でこれらの作物は作れなくなったのですが、今も水田に山ブキを栽培して、生産性の高い農業をしています。この取組は、シキミやピーマンを栽培していた時に、マルチの植穴から雑草としてフキが生えてきたため、マルチ栽培を思いついたそうです。

平成19年から綾部市の水源の里5集落の一つとなり、市の限界集落対策のモデル地域として、観光バスツアーの誘致やフキのオーナー園に取り組んでいます。

フキ採りバスツアー▶





# 地域ではばたく 京野菜の新しい担い手

## —京野菜新規栽培セミナーを受講して—

普及センターでは、京野菜の新規栽培を目指す方を対象に、「京野菜新規栽培セミナー」を開催しています。今回は、セミナーの受講をきっかけに、万願寺トウガラシ栽培を開始された、福知山市夜久野町の石原正直さんをご紹介します。

石原さんのセミナー受講のきっかけは、退職まで農業にふれる機会が少なく、野菜栽培を始めるにあたり、一から勉強しようと思ったことだそうです。

受講後、講座のテキストを読み直しながら実際に栽培すると、「セミナーで言っていたのはこのことだったのか〜」という経験があったそうです。

『座学と経験の両方がある、初めて知識がつくと気づいた。近所の人にも「頑張ってるな」と声をかけられる。周囲の人に対して、刺激になっていると感じている。一年目は基本に忠実に栽培したが、来年は少し管理方法を工夫したい』と抱負を語っておられました。

近所の方へも栽培の呼びかけをされるなど、積極的な活動が光ります。



同セミナーは、本年も秋に開催する予定です

## 新たなブランド京野菜の 産地化を目指して

福知山では、市・JA京都と連携し、生産者の協力の下、農業収入をより一層高められるよう、既存の基幹品目（キュウリ・エンドウなど）と労力分散できる新たな品目育成を目指し、『金時にんじん』や、京の伝統野菜でもある『聖護院だいこん』などの試作に取り組んでいます。

19年作では、金時にんじんは6名計20a、聖護院だいこんは5名計30aで栽培し、京都市場へも出荷をしました。今後はさらなる品質向上を目指し、施肥・



虫害防除方法等の改善に取り組みます。また、試作していただける方も募集していますので、お気軽にご相談ください。

出荷目合せ会

## 農薬を正しく使用することは 生産者の「義務」です!

食の安心安全が問われる中、農薬の使用は、今まで以上に注意が必要となります。

作物の栽培が始まる前に、再度、農薬の適正使用を心がけましょう!

1. 農薬はラベルをよく読むこと  
正しい適用作物、倍率、使用時期等を確認しましょう!
2. 農薬を計量する場合は、必ず計量カップや秤を使用すること
3. 使用後は、栽培履歴の記帳を行うこと

正しく使って、  
良品生産を!